

2025年 野良の藝術ワークショップ

赤山渋を復活させよう

お手伝いしてくださる方を探しています

8月17日(日)
24日(日)

*一日のみの参加も歓迎
10時

カマド前に集合
10時～12時

柿モギ、漬し作業
12時～13時 カマド料理

昼食 ¥500

13時～14時 作業

14時～ 後片付け

*飲み物は各自お持ちください
汚れても良い服装でお出かけください 保険には入っておりません。

場所：さぎ山（私有地）

埼玉県さいたま市緑区上野田282

さぎ山記念館の裏手(自動販売機右手)の小さな橋を渡り鉄板がひかれた坂道を登っていったところ右側にカマドがあります。

*地図検索は

「さいたま市緑区上野田282グリーンヒル諏訪野」でお願いします

江戸時代より野田のさぎ山では旧赤山領にちなんだ柿渋、通称“赤山渋”を代々生産してきた。今年もまた農園内の樹齢200年の柿の木より実を採取し、新たに創作された道具を用いて漬し井戸水を加え発酵させます。

野良をテーマとした私たちの活動は、藝術の手法 Art of practice から衣食住の源を探りつつ、里山農の発展に向けての活動を行っています。11月に行われる’野良の藝術2025’期間中には柿渋を用いて布を染めるワークショップや展示を致します。



野良の藝術 2025

開催日 11月22日(土)、23日(日)、
24日(月・祭日)、11月30日(日)

2025年 野良の藝術・座談会

-ガンディーの思想-

身の丈の経済論 講師：石井 一也



8月17日(日)

15時

さぎ山記念館1階ロビーに
お迎えに参ります。

15時半～17時

石の囲炉裏を囲んで座談会

17時～18時 かまど料理

交流会

*食事￥500 飲み物(ソフトドリンクor ビール)は別途実費

*雨天の場合は農園内ビニールハウスにて行います。

場所：さぎ山（私有地）

埼玉県さいたま市緑区上野田282

さぎ山記念館の裏手(自動販売機右手)の小さな橋を渡り鉄板がひかれた坂道を登っていったところ右側に石の囲炉裡があります。

*地図検索は

「さいたま市緑区上野田282グリーンヒル諏訪野」でお願いします

「身の丈の経済論 ガンディー思想とその系譜」

石井一也著 法政大学出版局

産業革命以降の大量生産・消費・廃棄、環境破壊という近代化の歴史と、それに続くグローバル化の流れは、人類を含む生態系をますます危機にさらしてきた。本書は、I.イリイチの「コンヴィヴィアリティ（自立共生）」という概念を手かがりにして、人間と人間、人間と自然のより豊かな関係性を追求したガンディー思想をつぶさにたどることで、持続可能な社会への転換の途を探る。

“野良の藝術”では

農と芸術の創造性を重ね、芸術の手法 Art of practice から衣食住の源を探りつつ、'里山農に向けた活動を続けております。

ガンディーの思想に学ぶことは未来に向けての里山農の経済を考えるうえでの縁(よすが)となるのではないかと想い馳せております。



野良の藝術 2024での作品の一部も会場で
ご覧になれます



野良の藝術 2025

開催日 11月22日(土)、23日(日)、
24日(月・祭日)、11月30日(日)